

第45回サントリー音楽賞
受賞記念コンサート

鈴木雅明と バッハ・コレギウム・ジャパン

Commemorative Concert of the 45th Suntory Music Award < Masaaki Suzuki & Bach Collegium Japan >

J.S. バッハ ミサ曲 短調 BWV232

Johann Sebastian Bach: Messe in h-moll, BWV232

- ◎ソプラノ——ハンナ・モリソン
Hannah Morrison, soprano
レイチェル・ニコルズ
Rachel Nicholls, soprano
- ◎アルト (カウンターテナー)——ロビン・ブレイズ
Robin Blaze, countertenor
- ◎テノール——櫻田 亮
Makoto Sakurada, tenor
- ◎バス——ドミニク・ヴェルナー
Dominik Wörner, bass
- ◎指揮——鈴木雅明
Masaaki Suzuki, director
- ◎合唱・管弦楽——バッハ・コレギウム・ジャパン
Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

2015.

7.28 (火) 19:00開演 [18:30開場]

サントリーホール 大ホール

【チケット料金】 S席7,000円 / A席5,500円 / B席4,000円 / P席3,000円

【チケット発売日】 一般発売 2015年2月28日(土) 10時

サントリーホール・メンバーズ・クラブ 先行受付
2015年2月21日(土) 10時～2月27日(金)

※ 先行期間中は窓口での販売はございません。

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00～18:00 休館日除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB <http://suntoryhall.pia.jp/>

バッハ・コレギウム・ジャパンチケットセンター 03-5301-0950

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード: 252-229]

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407 [Lコード: 37410]

CNプレイガイド 0570-08-9990



©Marco Borggreve

※出演者・曲目に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
※就学前のお子様のお同伴・入場はご遠慮ください。

鈴木雅明と バッハ・コレギウム・ジャパン

Commemorative Concert of the 45th Suntory Music Award < Masaaki Suzuki & Bach Collegium Japan >

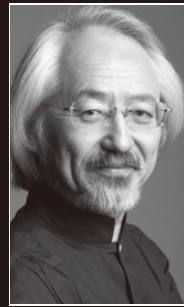
サントリーホール 口短調ミサ曲公演に寄せて

バッハ・コレギウム・ジャパンが初めて口短調ミサ曲を演奏したのは、J.S.バッハの記念年2000年11月、ここサントリーホールのバッハシリーズでのことでした。その後、何度も演奏の機会は得ましたが、今でも忘れられないのは、2011年3月、東日本大震災の3日後、奇跡的に成田から飛び立つことのできたアメリカツアーで、この口短調ミサ曲を演奏したことです。私たちは、まだ何が起こったのか、何をなすべきか、何もわからないままであったにも関わらず、カーネギーホールやイエール大学など各地の主催者が、私たちの到着を待ちわびるようにして、いち早く援助の手を差し伸べる準備を進めてくれたことには、本当に感激し、同時に、その時のプログラムが、心の平安と平和を求めるこの作品であったことに、人知を超えた計画を強く感じました。

戦後70年、阪神大震災の年からちょうど20年の今年、私たちバッハ・コレギウム・ジャパンも創設25周年、カンタータのレコーディング開始からちょうど20年を迎えます。この記念すべき年に、サントリー音楽賞の記念コンサートとして、これ以上ふさわしい作品はありません。

口短調ミサ曲は、J.S.バッハが自らの生涯を振り返って、その最晩年にまとめ上げた畢生の大作です。カトリックとプロテスタントという違いを超え、否、キリスト教だけではなくすべての宗教に共通の平和への希求が、この音楽の中に凝縮されています。「フーガの技法」の小宇宙を思わせる、結晶のような緻密さと、銀河の彼方を見晴らすかのような雄大な音の奔流が、あたかも全宇宙の美しき叡知を歌い上げるかのように。これを、今日、265回目のJ.S.バッハの命日に演奏できることもまた、人知を超えた出来事という他はありません。

バッハ・コレギウム・ジャパン
鈴木雅明



©Marco Borggreve

指揮：鈴木雅明 Masaaki Suzuki, director

1990年(バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ))を創設以来、バッハ演奏の第一人者として名声を博す。グループを率いて欧米の主要なホール、音楽祭に度々登場しており、雄弁かつ透明なサウンド、本質に迫る演奏アプローチで、極めて高い評価を積み重ねている。2013年3月にはBCJ合唱団、イエール・スコラ・カントールムを率いてニューヨーク・フィル定期にデビュー、大きな成功を取めた。BISレーベルへのディスコグラフィは目覚ましく、特にBCJとの「バッハ：教会カンタータ・シリーズ」および声楽作品集には『この歯切れよさ、明晰さ、そして峻厳な精神性の高さは、聴く者の心を動かさずにおかない(タイムズ)』と世界中の批評家から賛辞が寄せられている。2012年ドイツ・ライプツィヒ市より国際的なバッハ演奏貢献に対して「バッハ・メダル」、ロンドン王立音楽院・バッハ賞を受賞。平成25年度神戸市文化賞受賞。2013年度サントリー音楽賞をバッハ・コレギウム・ジャパンと共に受賞。現在、イエール大学アーティスト・イン・レジデンス、神戸松蔭女子学院大学客員教授。2015年1月、オランダ改革派神学大学名誉博士号を授与された。

合唱・管弦楽：バッハ・コレギウム・ジャパン

Bach Collegium Japan, chorus & orchestra

鈴木雅明が世界の第一線で活躍するオリジナル楽器のスペシャリストを擁して結成したオーケストラと合唱団。透明かつ劇的な合唱とオリジナル楽器による演奏は「アンサンブル全体が協和しながら光を発するかのよう響きの美しさ(朝日新聞)」と高く評価されている。ライプツィヒ・バッハ音楽祭、BBCプロムス、カーネギーホール、コンセルトヘボウなどでの演奏を通じて、その評価を高めている。2013年3月には、合唱団が鈴木雅明指揮ニューヨーク・フィル定期に出演し喝采を浴びた。スウェーデンBISより80点に及ぶCDをリリースし、多くの賞を受賞。2010～11年には『バッハ：モテット全集』が欧州3カ国のベスト・ディスク賞を獲得。2012年には震災チャリティ CD『Bach for Japan』をリリース。95年から時系列順で取り組んできた『バッハ：教会カンタータ・シリーズ』が2013年2月、全曲演奏・録音(全55巻)を完遂し、2014年ドイツ・エコークラシック賞(エディトリアル・アチーブメント・オブ・ザ・イヤ部門)、2014年度レコード・アカデミー賞(特別部門 企画・制作)を受賞。2014年にはスペイン・フランス公演の他ニュージーランド、メキシコで初公演を行い、各地で絶賛を博した。



© Rolf Franke

●ソプラノ
ハンナ・モリソン
Hannah Morrison, soprano



© Clive Barda

●ソプラノ
レイチェル・ニコルズ
Rachel Nicholls, soprano



© Dorothea Heise

●アルト(カウンターテナー)
ロビン・ブレイズ
Robin Blaze, countertenor



© Ribaltaluce

●テノール
櫻田 亮
Makoto Sakurada, tenor



●バス
ドミニク・ヴェルナー
Dominik Wörner, bass

青少年をペアでご招待 この演奏会に小学生から25歳以下の方とその同伴者をペアでご招待します。

- 応募方法：必要事項をご記入の上、下記サントリー芸術財団までお送りください。
サントリー芸術財団音楽事業ホームページ
<http://suntory.jp/sfamusic/> から
応募用紙をダウンロードすることも可能です。
- 必要事項：お名前(ふりがな)、郵便番号・ご住所、電話番号、FAX番号、年齢、e-mail
- 募集対象：小学生から25歳以下の方とその同伴者1名をペアで計50組100名様(小学校入学前のお子様は入場できません)
- 募集期間：2015年4月1日(水)～5月31日(日)
- 発表：当選者には2015年6月末までに、招待状を送付させていただきます。当日は、会場にて学生証など年齢がわかるものを提示いただき、座席券と引き換えいたします。
- 送信先：サントリー芸術財団音楽事業部
FAX (03) 3582-1350(24時間受付)
※FAX番号はお間違いないようご注意ください。